

導法を工夫しながら水慣れ、泳力の向上を目指していきます。夏期休業中の地域開放でもぜひご利用下さい。



学びの様子を参観していただきました

本校は校内研修（授業づくりや指導方法の向上についての職員研修）で「正確に聞き取る力、正確に読み取る力」の向上を目指しています。今回は6年生で研究授業を行いました。国語科の物語文「風切るつばさ」で、場面ごとに心情（気持ち）を読み取りながら友だちと考えを比べ合いました。「正確に聞き取る力」「正確に読み取る力」というのは、授業だけで培われるものではなく、ふだんの生活全般においてとても重要な力です。先生の指示を聞いて動いたり、質問に応えたりする、読み語りボランティアの方のお話を聞いて、本の内容を踏まえて感想を述べる、国語科や算数科の文章問題を読んで、題意に即した答えを導くなど、いろいろな場面で身につける機会があります。



ご家庭においても、こうした力を育む機会はたくさんあります。例えば、「今、何て言ったかな?」と聞き返して話の内容を確かめたり、テレビやニュースを見ながら「どんなことを伝えていたかな」と話し合ったり、本や新聞、広報紙などを読んで「何が書いてあったかな」と尋ねたりすることも、聞き取る力や読み取る力を育てることにつながります。また、家族での会話の中で、「どうしてそう思ったの?」「その理由は何かな?」と問いかけることで、相手の話をよく聞き、自分の考えを整理して伝える力も育まれていきます。

これらの力は、学力向上の土台となるだけでなく、将来、さまざまな人と関わりながら生活していく上でも欠かせない力です。学校でも授業や日常の教育活動を通して育成に努めてまいりますので、ご家庭でもお子様との会話や読書などを通して、ぜひ意識していただければと思います。



また、先週金曜日は、平戸市教育委員会の学校訪問がありました。以前本校の校長、教頭をされていた先生方もいらっしゃって、子どもたちの学びや先生方の指導の様子、安心して学べる環境整備等についてご助言をいただきました。

訪問された方々からは、子どもたちの意欲的な姿や、互いに関わりながら学習を進める様子、学校全体の落ち着いた雰囲気などについて、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。これは、子どもたちの日々のがんばりはもちろん、保護者や地域の皆さまのご理解とご協力のおかげでもあります。

今回いただいたご助言や励ましの言葉を今後の学校運営や教育活動の充実につなげ、子どもたちのよりよい成長を支えてまいります。

田平東小HPはこちらから→

